

南魚沼市統合学校給食センター整備事業

審査講評

令和5年8月

南魚沼市統合給食センター整備検討委員会

— 目 次 —

1. 審査体制	1
2. 検討委員会の開催経過	1
3. 審査結果	1
3.1. 入札参加資格審査（第一次審査）	1
3.2. 提案内容審査（第二次審査）	2
3.3. 入札価格の適格審査（開札）	3
3.4. 入札価格の得点化.....	3
3.5. 総合評価	3
3.6. 審査講評	4
3.7. 総評.....	5

1. 審査体制

南魚沼市（以下「市」という。）は、提案内容の審査に関して、幅広い専門的見地からの意見を参考とするために、学識経験者等により構成される「南魚沼市統合給食センター整備検討委員会」（以下「検討委員会」という。）を設置した。

検討委員会の構成は、次に示すとおりである。

【検討委員会の委員】

委員長	牧野 智一	長岡大学 経済経営学部准教授
副委員長	有波 裕貴	新潟大学 工学部工学科助教
委員	鈴木 一恵	新潟医療福祉大学 健康科学部健康栄養学科教授
〃	南雲 久仁之	南魚沼市 建設部長
〃	片桐 克巳	南魚沼市 教育委員会 教育部長

2. 検討委員会の開催経過

検討委員会は計5回開催した。開催日と主な議題は次に示すとおりである。

【検討委員会の開催日及び審議等の事項】

検討委員会	開催日	主な議題
第1回	令和4年10月27日	事業概要、スケジュール、落札者決定基準の作成方針
第2回	令和5年2月21日	事業方針及び要求水準書（案）、落札者決定基準の作成方針
第3回	令和5年6月9日	最優秀提案者選定の進め方
第4回	令和5年7月6日	提案内容審査
第5回	令和5年7月12日	ヒアリング、総合評価、最優秀提案者の選定

3. 審査結果

3.1. 入札参加資格審査（第一次審査）

下記の3グループから入札参加資格審査書類の提出があり、市は入札参加者が備えるべき参加資格要件（入札説明書に規定されている要件）を満たしていることを確認し、検討委員会は報告を受けた。

グループ名
S.T.N.N.D. 南魚沼共同企業体グループ
井口・パシフィック・ローテック・昱工業共同企業体グループ
Tグループ

3.2. 提案内容審査（第二次審査）

(1) 入札書及び提案書の確認

下記のグループから入札書及び提案書が提出され、市が必要書類に不備がないことを確認し、検討委員会は報告を受けた。

なお、加点項目審査における評価の際は、入札参加グループ名、企業名等を伏せ、入札参加受付後に配布した受付番号により、全ての審査を行った。

グループ名	受付番号	構成員	
S.T.N.N.D.南魚沼共同企業体グループ	A	代表企業	新潟ガービッジ株式会社
		構成企業	株式会社綜企画設計 埼玉支店
		構成企業	株式会社大和設計
		構成企業	富山電気株式会社
		構成企業	株式会社 NNC エンジニアリング 南魚沼支社
井口・パシフィック・ローテック・昱工業共同企業体グループ	B	代表企業	井口建設工業株式会社
		構成企業	パシフィックコンサルタンツ株式会社 北陸支社
		構成企業	株式会社ローテック
		構成企業	昱工業株式会社 魚沼営業所

※Tグループは、提案の参加を辞退した。

※以下、「S.T.N.N.D.南魚沼共同企業体グループ」はAグループ、「井口・パシフィック・ローテック・昱工業共同企業体グループ」はBグループという。

(2) 基礎項目審査

上記のグループから提出のあった提案書の内容が、基礎項目審査の審査項目を充足しているかを市が確認し、検討委員会は報告を受けた。

基礎項目審査では、「要求水準の基礎項目を満たしている」ことを判断し、落札者決定基準に示す基礎項目審査の審査基準を満たしていることを確認した。

(3) 加点項目審査

上記のグループの提案内容のうち、市が特に重視し、かつ検討委員会が審査した項目（加点項目）に関して、その提案が優れていると認められるものについては、その程度に応じて、以下に示す判断基準により検討委員会が性能点を付与した。

	評価内容	採点レート
A	要求水準書の記載を超える提案がなされており、その内容が特に優れている	当該項目の配点×100%
B	AとCの中間の提案内容	当該項目の配点×75%
C	要求水準書の記載を超える提案がなされており、その内容が優れている	当該項目の配点×50%
D	CとEの中間の提案内容	当該項目の配点×25%
E	要求水準書の記載を超えない提案内容	当該項目の配点×0%

加点項目審査の結果は、以下のとおりである。

区分	評価項目	配点	A グループ	B グループ	
性能点	1. 事業方針	①事業実施方針、実施体制	20	18.00	11.00
		②地域社会、地域貢献への配慮（定性評価）	40	32.00	20.00
		③地域社会、地域貢献への配慮（定量評価）	70	70.00	59.04
	2. 施設整備に関する提案	①全体計画（配置計画、動線及び外構計画）	70	45.50	42.00
		②衛生管理	70	42.00	45.50
		③作業環境	40	28.00	26.00
		④アレルギー対応食対応	40	16.00	26.00
		⑤食育推進支援	20	9.00	19.00
		⑥調理設備・備品計画	70	52.50	52.50
		⑦防災への配慮	40	22.00	28.00
		⑧ライフサイクルコストや環境負荷低減への配慮	70	42.00	49.00
		⑨施工計画	20	16.00	13.00
	3. 開業支援に関する提案	①開業支援	30	21.00	22.50
性能点計		600	414.00	413.54	

3.3. 入札価格の適格審査（開札）

入札書に記載された入札価格が予定価格を超えていないことを市が確認し、検討委員会は報告を受けた。

3.4. 入札価格の得点化

入札価格を対象として、以下に示す方法に基づき価格点を付与した。

$$\text{価格点} = 400 \text{ 点} \times (\text{最低入札価格} / \text{当該入札価格})$$

項目	A グループ	B グループ
入札価格（税込）	¥1,980,000,000	¥2,030,000,000
価格点	400.00	390.15

3.5. 総合評価

検討委員会は、次表のとおり総合評価点を算定し、A グループ（S.T.N.N.D.南魚沼共同企業体グループ）を最優秀提案者として選定した。

項目	A グループ	B グループ
性能点	414.00	413.54
価格点	400.00	390.15
総合評価点	814.00	803.69
順位	1	2

3.6. 審査講評

(1) 事業方針に関する提案

<A グループ>

- ・ 「事業実施方針、実施体制」について、企業間の連携方法などの具体的な実施体制などの提案が特に高く評価された。
- ・ 「地域社会、地域貢献への配慮（定性評価）」について、市内企業への発注拡大のための体制、地域経済への貢献に対する検証方法などの提案が特に高く評価された。

<B グループ>

- ・ 「事業実施方針、実施体制」について、市の考えを理解した取り組み姿勢、基本的な考え方などの提案が評価された。
- ・ 「地域社会、地域貢献への配慮（定性評価）」について、市内企業の活用などの提案が評価された。

(2) 施設整備に関する提案

<A グループ>

- ・ 「全体計画（配置計画、動線及び外構計画）」について、車両動線や積雪時への配慮などの提案が特に高く評価された。
- ・ 「衛生管理」について、作業動線や室配置などの提案が評価された。
- ・ 「作業環境」について、下処理室や煮炊き調理室の作業スペースの確保、給食エリアにおける熱環境への配慮などの提案が特に高く評価された。
- ・ 「アレルギー対応食対応」について、アレルギー対応食調理の機能を果たす計画などの提案が評価された。
- ・ 「食育推進支援」について、食育推進計画を踏まえた学校給食センター機能を活用した計画などの提案が評価された。
- ・ 「調理設備・備品計画」について、充実した食材保管の計画がされているほか、作業に必要な調理設備・備品が詳細に検討されており、衛生面だけでなく調理従事者の負担軽減に配慮された計画などの提案が特に高く評価された。
- ・ 「防災への配慮」について、自然災害に対応した計画などの提案が評価された。
- ・ 「ライフサイクルコストや環境負荷軽減への配慮」について、熱源の効率化、省資源に資する資材や材料の活用、省エネルギーに資する高効率設備の採用のほか、雪冷房システムの導入などの提案が評価された。
- ・ 「施工計画」について、安全管理・工程管理・品質管理の明確な役割分担や責任体制、資器材の調達の考え方、工事工程と雪冷房システム整備の関係の考え方などの提案が特に高く評価された。

<B グループ>

- ・ 「全体計画（配置計画、動線及び外構計画）」について、車両動線やバリアフリーに対する配慮などの提案が評価された。
- ・ 「衛生管理」について、作業動線や室配置のほか、アレルギー対応食やハラル食に対す

る計画などの提案が特に高く評価された。

- ・ 「作業環境」について、煮炊き調理室の作業スペースの確保、給食エリアにおける熱環境への配慮などの提案が評価された。
- ・ 「アレルギー対応食対応」について、アレルギー対応食調理の機能を果たす計画のほか、煮炊き調理室等との食材の受渡しへの配慮、将来の変化への対応などの提案が特に高く評価された。
- ・ 「食育推進支援」について、充実した見学者通路の動線計画や展示コーナーの空間計画、展示物の提供などの提案が特に高く評価された。
- ・ 「調理設備・備品計画」について、食数に応じた調理設備の算出根拠が明確にされているほか、作業に必要な調理設備・備品が詳細に検討されており、衛生面だけでなく調理従事者の負担軽減に配慮された計画などの提案が特に高く評価された。
- ・ 「防災への配慮」について、自然災害に対応した計画のほか、非常時の電源確保などの提案が特に高く評価された。
- ・ 「ライフサイクルコストや環境負荷軽減への配慮」について、耐久性や長寿命化に資する資材や材料の活用、温室効果ガスの削減や省エネルギーに資する各種設備の採用、雪冷房システムの導入のほか、エネルギーマネジメントによる LCC 低減などの提案が特に高く評価された。
- ・ 「施工計画」について、安全管理体制、周辺環境への対策の考え方などの提案が評価された。

(3) 開業支援に関する提案

<A グループ>

- ・ 「開業支援」について、実績等に優れた有資格者が業務を実施、明確な工程のほか、供用開始までの市の業務に係る支援などの提案が評価された。

<B グループ>

- ・ 「開業支援」について、実績等に優れた有資格者が業務を実施、各種講習会を開催するほか、事業期間終了後の支援体制などの提案が特に高く評価された。

3.7. 総評

本事業への入札参加は2グループであり、各グループとも提案内容は、本事業で求める要求水準を満たし、それぞれの項目において創意工夫が見られ、優れた提案であった。

今後、Aグループが本事業を実施するにあたり、市の要求水準や検討委員会から評価された具体的な提案内容を確実に実行することは当然のこと、本事業をさらにより良いものとするため、次の事項に留意して事業を実施することを検討委員会として要望する。

- ・ 学校給食は、おいしく、安全安心、適切な栄養摂取はもとより、食育推進の生きた教材としての役割を持つため、市が目指す南魚沼市統合学校給食センター(以下、「本件施設」という。)づくりに対して、市との連携を密にし、栄養教諭等の関係者の声を反映させながら、誠実に取り組んでいただきたい。

-
- ・ 作業動線、設備内容、衛生管理、作業環境、アレルギー対応食対応について、栄養教諭等の関係者と十分な打ち合わせを行い、効率性、衛生性、作業性、安全性により配慮した施設としていただきたい。
 - ・ 食育の推進に向け、安全に配慮した調理工程であることを示し、本件施設への主な見学者となる児童・生徒の印象に残すため、見学路の充実、見学スペースの見学窓の増設、ICT を活用したモニター設置など、さらなる工夫をしていただきたい。
 - ・ 見学路において雪冷房システムに関する展示も行っていただけると、より本事業の特徴が際立つと思われるので検討していただきたい。
 - ・ 駐車場から建物に至るまでのバリアフリー動線について、より配慮されて充実した計画となるよう対応していただきたい。
 - ・ 自然災害などに対する本件施設の BCP 計画、およびそのための非常用電源などの機器整備、平時・非常時の機器運用について、市と協議を重ね対応していただきたい。
 - ・ 災害時の拠点としての活用の可能性が向上するよう検討していただきたい。
 - ・ 雪室を用いた冷房システムの運用試験について、十分な試験および設備機器の調整を行い、積極的な再生可能エネルギーの活用が実現するよう対応していただきたい。

最後に検討委員会として、募集及び選定スケジュールが短い期間であったにもかかわらず、本事業を実施するにあたり、入札参加者をはじめ、関係各位の多大なる努力と熱意に敬意を表するとともに、本事業が順調に実施され、官民が連携しあい、相乗効果を図りながら「安全安心でおいしい学校給食」を実現する事業となることを祈念する。